アユに恋して。さあ、今日はどの瀬に立とうか

アユ釣り編

こんなに魅力的な川が、私たちのすぐそばに。

特集 物部川をもっと楽しむ

アユ釣り歴50年以上 これが生涯の趣味

「一生幸せになりたければ釣りを覚えなさい」ということわざが中国にあるように、釣りは生涯を通して楽しめる趣味だと言える。定年まで勤め上げ、老後の楽しみとして釣り三昧の日々を送る人は少なくない。岡林正敏さん（物部町大栃在住）もその一人だ。

岡林さんが初めてアユ釣りをしたのは中学生のとき。重りの付いた掛け針をしゃくって魚の体に引っ掛ける『玉じゃくり』という釣り方でアユを狙ったのが始まりだ。その後アユの友釣りを教わり、初めての釣果が７匹。「これはしよい」と思ったそうだ。しかしもちろんそんな簡単なものではなく、釣れたり釣れなかったり、試行錯誤を繰り返しながら今に至っている。

アユは縄張り意識の強い魚で、自らのテリトリーに侵入してきた別のアユを攻撃する。その習性を利用するのがアユの友釣りだ。非常に長い竿を駆使して掛け針を付けたオトリアユを泳がせ、攻撃してきたところを引っ掛けて釣り上げるのだ。

素人からすると難しそうに見えるこの釣りで、最高どのくらい釣り上げたことがあるかと岡林さんに尋ねると、短い時間で30匹以上釣ったこともあるという。気候や川の状況で、アユが多い年もあれば少ない年もあるそうだ。

どのタイミングで、どこの瀬に立つか。水量や天気を考え、ポイントを見極めるのも釣り師の腕だと言う。

「すごく奥が深い。休みの度に川に立って、上手な人の釣り方を見ながら覚えていった。さっぱり釣れないときもあるが、どうしたらもっと釣れるか、今度はどのポイントで釣ろうか、いろいろと考えを巡らせるのも楽しみのひとつ」

釣りへの思いは強く、楽しみは大きい。

物部川のアユ釣り

物部川は杉田ダムを境に、下流は天然アユ、上流は放流アユと住み分けをしている。

天然アユが遡上できない杉田ダム上流は、人工産のアユを放流して釣り場を保っている。この放流アユは、全国でもトップクラスの人工産アユを育てる高知県内水面漁業協同組合連合会のものだ。上流と下流では川の形状も違うため、それぞれに趣が異なるアユ釣りが楽しめる。

下流で釣り人を楽しませる天然アユは、物部川の大きな魅力。「天然アユの引きの強さは抜群。豪雨で下流に流されると、放流アユは戻ってこないことが多く釣れなくなる。天然は流されてもまた遡上して帰ってくる」

天然アユのタフさを物語る話のひとつだ。

岡林さんは、竿の操作でオトリアユを巧みに誘導しながら、アユがいそうなポイントを狙う。腰の玉網を左手で構えて一気に竿を上げ、水面から魚を抜き上げる。美しく輝く魚体が姿を現し、吸い込まれるように玉網へ。

アユ釣り解禁を待ちわびていた太公望たちが、今日も物部川の瀬に立っている。

よそに釣りにいちょって釣れんかったら、やっぱり物部川で釣りよったらよかったと思わぁね

岡林正敏さん

待ちわびたアユ漁の解禁日に竿を出す釣り人たち

アユの遊漁期間

■さお漁・しゃびき・すくい網・徒手採捕
杉田ダムから下流　5月15日～9月30日
杉田ダムから上流　7月1日～12月31日

■エサ釣り
杉田ダムから下流　7月15日～9月30日
杉田ダムから上流　8月1日～12月31日

■玉じゃくり
杉田ダムから上流　8月1日～12月31日

※その他漁法の遊漁期間や禁漁区等の制限については、お問い合わせいただくか、物部川漁協のホームページをご覧ください。

HP http://monobegawa.sakura.ne.jp/

☎53−3224

アユとの勝負は真剣そのもの。周りのライバルたちの動きに目を配りながら、竿先に神経を集中する

釣り上げたアユをナイスキャッチ！

天然アユの数釣りが楽しめる